



社協

原南学区

発行
原南学区社会福祉協議会
編集
広報委員会

「令和二年度原南学区敬老会」開催中止 原南学区社会福祉協議会

令和二年度の原南学区敬老会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止と参加者の健康と安全を最優先に考え、開催を中止いたしました。

「お孫さん・曾孫さんぐらいの園児や小・中学生が演じる歌や踊りを、見聞するのが楽しいと、毎回参加していたが今年は残念でしかたがない」と言われる方も多数おられました。

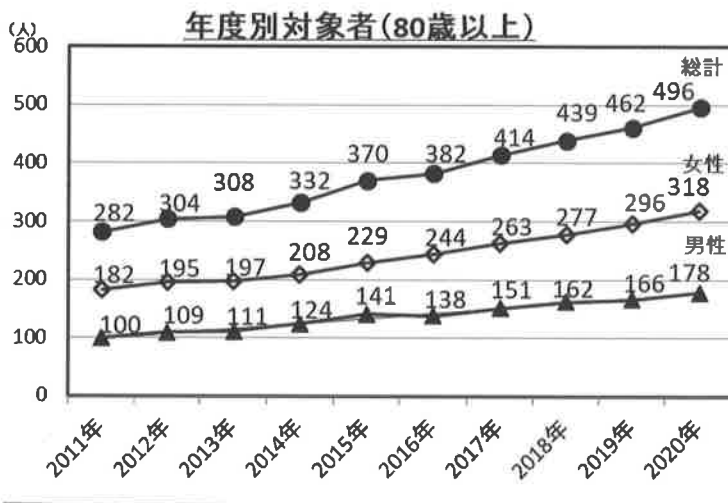
また、社会福祉協議会は「少しでもお役に立てば」と八十歳以上の敬老会対象者の方全員に、一人当たりマスク五枚を配布しました。

高齢化が進み原南学区内で八十歳以上のお年寄りが前年より三四名増の四九六名(十年前の一・八倍)となり年々増加してきています。(下表・グラフ参照)

コロナ三密を避けつつ、心は密にして、末永く健康で過ごされることをご祈念申し上げます。

原南学区 敬老会対象人員数

町内会	各年末80歳以上				
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
上町内会	39	38	44	56	61
上第二町内会	84	90	99	104	108
中町内会	81	92	90	93	101
西町内会	66	77	84	84	94
長和久町内会	21	21	22	20	22
中通り自治会	91	96	100	105	110
合計	382	414	439	462	496



毎年、カレンダーの残りが一枚と少なくなる頃、原南福寿会女性部は、年間行事の一つで区老連による干支の壁掛け作り講習を受けるのが習わしです。そこへ、突然のコロナ禍、感染予防のため全ての行事が中止と云うシチュエーションによる自粛、巣籠もりが始まりました。コロナ禍で苦慮する日常、終

福寿会女性部「干支作り」 原南福寿会女性部 部長 信藤章与

わりの見えない日々不安を感じている方が多いと思います。福寿会女性部は前向きに考え年一回の手芸、万全のコロナ対策のもと集会所にて干支作りを実施いたしました。男性の参加もありました。ゴツゴツした手で指導者と一緒に柔らかい布を上手に扱い完成を喜ばれました。例年の雰囲気とは違っても、皆一生懸命、時間内で無事終る事が出来スタッフ一同ホッと一息！で解散。





2020.10.1
ゆめタウン祇園店



2020.10.1
アストラムライン祇園新橋北駅前

「赤い羽根共同募金」への
「ご協力ありがとうございました！」

今年度も、全国統一スローガンである「自分の町を良くするしくみ」をメインテーマに令和2年10月1日から、全国一斉に募金活動が実施されました。

原南学区においても、10月1日アストラムライン祇園新橋北駅前とゆめタウン祇園店の2か所で街頭募金活動を実施しました。募金活動参加者は、民生委員児童委員6名、社協2名及び女性会、福寿会、更女それぞれ1名の11名でした。

街頭募金の額は、6万7000円でした。今年度は大口の募金もあり前年度を1万6000円上回りました。

また、赤い羽根共同募金は、街頭募金のほか町内会・自治会での募金が大きな割合を占めており、町内会・自治会会員の皆様のおかげと感謝しております。赤い羽根共同募金にご協力いただいた浄財は、広島県及び広

令和2年度原南学区共同募金実績額

中町内会	159,000円
中通り自治会	82,500円
西町内会	70,500円
上町内会	50,400円
上第二町内会	36,000円
長和久町内会	25,800円
街頭募金	67,000円
学区有志募金	131,000円
合計	622,200円

(募金額は2020.11.30現在集計分)

島市共同募金委員会に集約され、様々な福祉活動団体に助成されるところにも、災害に備えての準備金に充てられております。また、原南学区社会福祉協議会にも支援されており、いきいきサロン、ボランティアバンクの生活支援などの福祉のまちづくり

事業及び敬老会などの社協主催事業の貴重な財源となっており、今後とも、共同募金へのご協力をお願いいたします。なお、今年度の原南学区共同募金実績額は62万2200円です。(2020年11月30日現在)。

安全で安心できる学校を目指して

新型コロナウイルス感染症防止に向けた学校の取組

原南小学校 校長 高野祥子

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、約二か月間の臨時休業のち、六月から学校が再開し、子どもたちの元気な声が戻ってきました。子どもたちが安心して学校生活を送るために、次の二つのことに重点を置いて

臨時休業に伴う授業時間を確保し、子どもたちの学力・体力を向上させるために、年間指導計画を見直したり、学校行事の縮小や精選をしたり、週日課の見直しを行ったりしました。

教育活動を行ってきました。一つ目は、感染防止対策です。登校前の検温、石けんでの手洗い、マスクの着用、席の間隔をあける、教室の常時換気、消毒、給食時の衛生管理(手洗い・消毒・机を向かい合わせにせず前を向いて静かに食べる)などの取組です。

今年度は、多くの学校行事が中止となり、制約が多い中で、子どもたちは元気に登校し、一生懸命学びに向かう姿が見られます。

二つ目は、子どもたちの学びの保障に向けた取組です。

私たち教職員は、子どもたちが心やさしく健やかに成長していけるよう、今後も保護者の皆様、地域の皆様とともに取り組んでまいりたいと思います。

地域の総合力で「生活支援」を！

原南学区社会福祉協議会

原南学区においては、社会福祉協議会の福祉のまちづくり推進事業及び広島市の総合事業により、次のとおり生活支援体制の整備を図ってきました。

- いきいきサロン（4地区）
- 健康体操（3地区）
- 高齢者地域支え合い・見守り
- 地域住民による生活支援サービス

住民の生活支援をさらに推進するためには、それぞれの事業間の連携・連動が必要です。

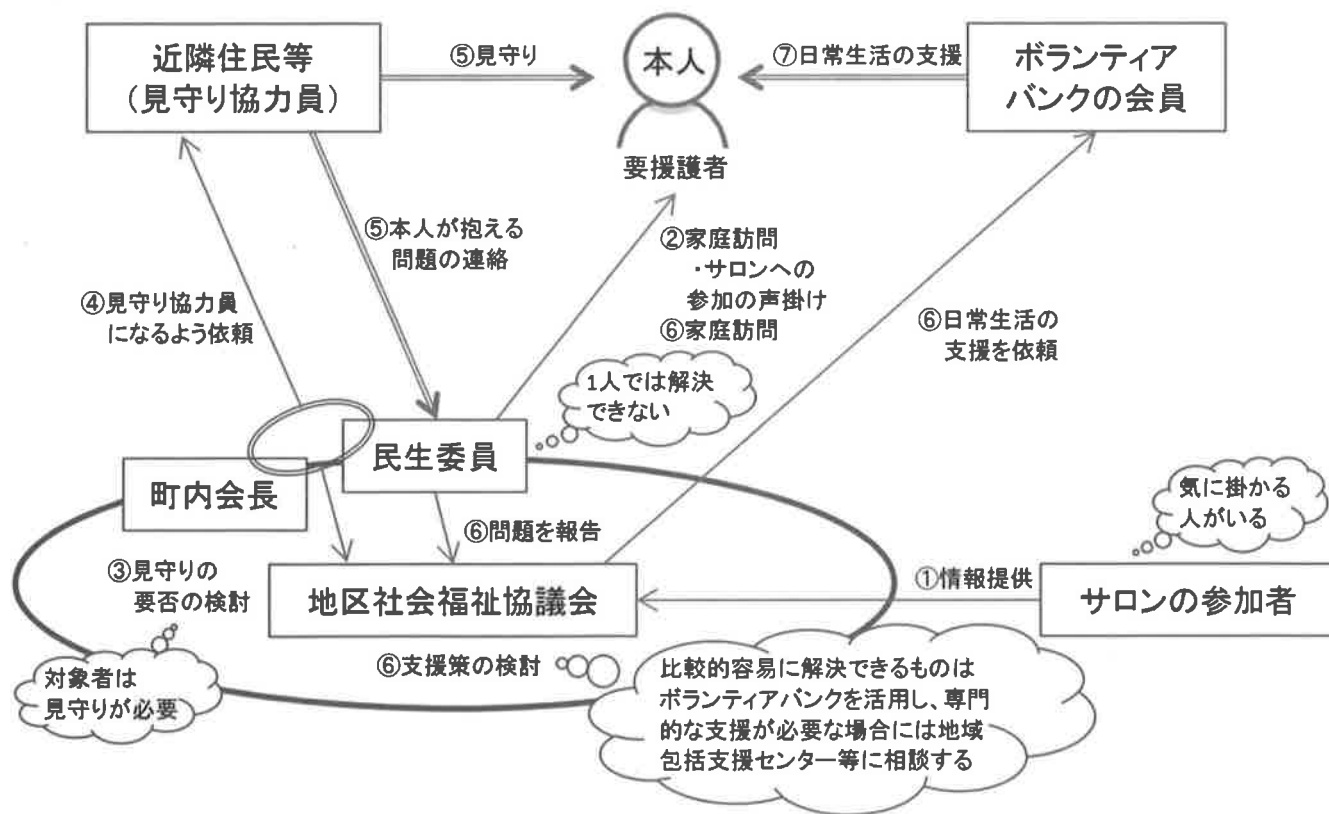
次の事例は、広島市地域共生社会実現計画に掲載されている「支援の実践例」の概要です。原南学区においても、こうした取り組みを実践していきたいと思ひます。

皆さまの一層のご協力をお願いいたします。

<事例> 地区社会福祉協議会等の取組による課題解決

【問題が表面化する契機】

- ① 地区社会福祉協議会は、いきいきサロン・健康体操（以下、サロン）を開催する。（サロンの参加者から、家に閉じ籠っている高齢者（本人）がいて気に掛かっているとの情報提供がある）



【課題解決に向けたプロセスと地域における問題の把握】

- ② 情報提供を基に、民生委員は、家庭訪問を行うとともに、サロンへの参加の声掛けを行う。
- ③ 民生委員は、把握した情報を基に、地区社会福祉協議会で見守りの要否について検討する。
- ④ 本人の同意を得て、町内会長と民生委員は、近隣の人や親しい人に見守り協力員になってもらうよう依頼する。（依頼の結果、近隣の人や親しい人が見守り協力員となる）
- ⑤ 見守り協力員は、日頃から本人を気に掛けるとともに、本人が問題を抱えている様子であれば、民生委員に連絡する。
- ⑥ 民生委員は、連絡を受けた場合、家庭訪問後、地区社会福祉協議会に報告し、本人の今後の支援策について協議を行う。（買い物やゴミ出しの手伝いなどによって比較的容易に解決できる課題についてはボランティアバンクを活用し、支援することとなる。また、専門的な支援が必要な場合には、地域包括支援センター等へ相談を行うことを検討する）
- ⑦ ボランティアバンクの会員は、家庭訪問し、買い物やごみ出し等の日常生活の支援を行う。



散会を余儀なくされました。みんなコロナに気を付けようね！よいお年をと集会所を後にしました。

連日パンデミック、クラスター、ソーシャル・ディスタンスともう耳慣れた用語が飛び交う最中、サロンの後半をスタートしました。九月は包括支援センターの講師をお

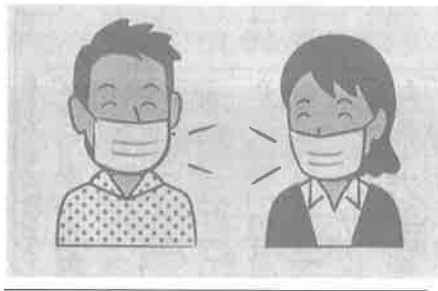
招きして、オレオレ詐欺がますます巧妙になった事例を挙げてみんなご用心をと再認識した話。十月は三密に気をつけ、全員マスクを付けてコロナの怖さの話題で団欒。十一月は集会所の2階を一杯使って、ペタンクで盛り上がりました。十二月のサロンは、市内のコロナの数値が急上昇したため、お弁当とビンゴを用意したものの三十分のスピード

今年度は、コロナ禍に何度も再開をはばまれ、お会いしたくてもかなわず、自粛するばかりでした。

特に上地区は参加者が多く、高齢者の方々に「もし災いが及んだら」と何度か役員会を開いて延期を決めていました。今はもっと身近に禍が迫っています。

上地区では、一日も早い終息を祈って、また元気にみなさんとお会いできる日を待つばかりです。

いきまろ かろ 上中 西下



令和二年後半は、マスクの着用・消毒・換気・密集の回避等に気をつけながらの開催となりました。九月はビンゴゲームをし、運動不足の解消にと十月は元年にも指導していただいた、大背戸まりこ先生を講師に迎え「簡単健康体操」と、ラップの芯を使ったストレッチ等で、身体を動かし、十一月は「ペタンク」を行いました。

今後「3密」に気を付けながら、新年会、包括支援センターによる講習会を行う予定です。皆様の参加をお待ちしています。



今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、七月からの開催となりました。講習会やグラウンドゴルフなど、感染予防をしながら楽しく行っています。

恒例の干支作りは、西子ども会の皆さんと一緒に行いました。集中して一生懸命作った干支の牛は、どの作品もとても生き生きしています。

いつでも皆さんの参加をお待ちしています。



元気なお年寄り



中通り自治会
池田 幸子
(八十八歳)

一、健康への心掛け
毎日規則正しい生活をする事。ご先祖様に感謝し朝晩仏さまに手を合わせています。庭の手入れや野菜を育て、身体を動かすようにしています。

二、今までで一番の思い出
主人と一緒に日本各地を旅行しいろんな温泉巡りをしたことです。
三、生き甲斐(趣味)は何ですか
四季折々の花を生け、色紙を掛け変えたりすること。
お墓の花が枯れないようにお墓参りすることです。

四、人生の先輩として一言
くよくよしないいろいろな事に興味を持ち、感謝の気持ちを忘れず一日を過ごすようにしたらと思います。